※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術科	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作品ごとに到達目標と観点を提示します。それを基に自分の主題を生成し、自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の行動で制作してください。
・「自分とは何か」という問いを深め、表現することで自分をより深く理解していきましょう。
・「他者と自分の関わり合い」を意識し、表現することで他者とのつながりを認識しましょう。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやレポート、作品で評価します。課題作品の提出期限を守りましょう。
・美術の授業では、感性を高め、表現力と鑑賞の能力を伸ばし、美術が生徒みなさんの生涯にわたり、心や生活を豊かにしていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、主体的に表現方法を工夫して表している。 美術作品・文化などの表現の工夫を理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色彩演習	色相環	a: 表現方法の特性や技法を学ぶ。色についての知識を深める。 b: 技法や構成を理解し、的確な表現方法を探す。 c: 身近な色の対比に興味を持ち構成に取り入れようとしている。	作品 ワークシート	作品	作品
		色彩構成 レタリング	a: 色の三属性を理解し、効果的に使うことができる。レタリングについて学ぶ。 b: 対象物を注意深く観察し、色や構図を考える。構成の意図や目的が作品に表現されている。 c: 色彩に関心を持ち、表現に創意工夫がみられる。	作品 ワークシート	作品	作品
2学期	平面表現	デッサン	a: 表現方法の特性や技法を学ぶ。 b: 技法を理解し、的確な表現方法を探す。 c: 対象物をとらえることに関心を持ち、よく観察して、主体的に取り組んでいる。	作品	作品	作品
		モダンテクニック	a: 偶然性で作る表現方法について学ぶ。描画道具を使いこなす。 b: 技法や道具の特性を理解し、最適な表現方法を考えることができる。 c: 主体的に取り組み、効果的な表現を試みている。	作品 ワークシート	作品	作品
		自画像の切り絵	a: 表現方法について学ぶ。カッターナイフを使いこなす。 b: 技法や道具の特性を生かし、色彩構成などを工夫して創造的な表現方法を考えることができる。 c: 自己の内面を見つめ、主体的に取り組み、表現方法に創意工夫がみられる。	作品	作品 ワークシート	作品 ワークシート
3学期	立体構成	立体造形 塑像	a: 塑像について学ぶ。対象物を立体で捉え、表現する。 b: 主題に沿ったモチーフを選択することができる。素材の特性を生かし、立体的に表現できる。 c: 自ら主題を生成し、細部までこだわり、丁寧に制作しようとする。	作品	作品 ワークシート	作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度